

「のんびり暮らし」どんな暮らし？

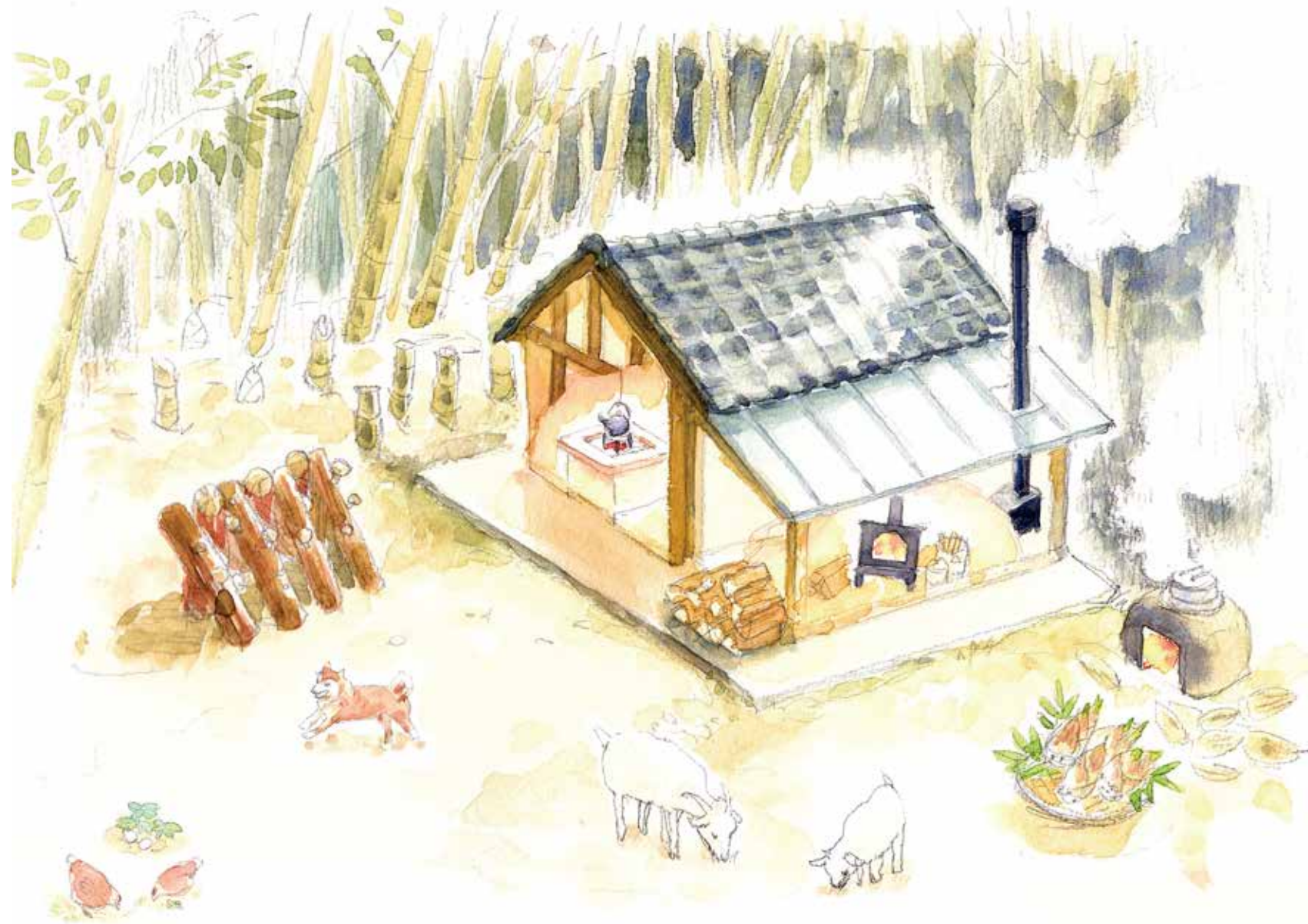
私たちが建てている「のんびりぐらしの家」には、京都の木材を使う・北山磨き丸太の大黒柱・土間・軒の深い屋根・大開口の窓の標準仕様のほかに、薪ストーブ・囲炉裏などお勧めしている設備があります。

なぜこれらの仕様を取り入れているのか、その原点について考えました。

原点は、大原野の風土と共にある生活

ここでいう風土とは、「風景」「文化」「気候」のことをいいます。

風景	雪景色・芽吹き・新緑・紅葉、四季のうつろいを感じる自然
文化	紫式部や在原業平に詠まれ愛された土地・京都大原野の農家の暮らし方
気候	西山へと吹きぬげる風・京都でいちばん初めに朝日が当たる場所



こと・暮らしを愉しむ設備と環境

設備	大黒柱	一家を支え、家族の成長を見続けてくれる大黒柱。
	囲炉裏	暖房や調理目的の炉のひとつ。皆で囲みひとつの時間を過ごす。
	おくどさん	かまどそのものを指す。火を熾し調達した野菜や米を調理する時間。
環境	薪ストーブ	石油・石炭などの地下資源を必要としない炭素中立な暖房。薪を作り、火の世話をしながら自分と対話する時間。
	家のまわりの自然	敷地や近くの田や畑で米や野菜作り、そして竹やぶでは筍づくり等大原野の自然を愉しむ時間。
	景色	朝日の当たり方や気候で毎日違った景色を映し出してくれる小塩山。家から見える大原野の景色を取り込むためにつける窓。



2021年は、私たちや考えに共感された方々と共に「のんびり暮らし」を実践・体現する場所をつくります。